



喜多方ロータリークラブ第32回（通算3235回）例会

日時：令和3年3月9日（火）12:30

場所：商工会議所 大ホール

お食事：おお多 煮込みかつ丼（テイクアウト）

会場監督：中野 博正

◎開会点鐘

佐藤 正道会長

◎ロータリーソング

☆第2週 我等の生業

◎四つのテストの唱和

◎お客様紹介

伊藤 二郎副会長

・福島県立喜多方東高等学校 校長 渋川 卓也（しぶかわ たくや）様

♪リモートでのご出演です♪

◎会長挨拶

佐藤 正道会長

◎幹事報告（理事会報告・来信・お知らせ） 瀬野 勝治幹事

- ・ガバナー事務所より、中学生によるインターシップ（職業体験事業）YouTube URL のお知らせ
2021 学年度米山記念奨学生世話クラブ決定とカウンセラー引受けのお願い
2021 学年度「業務委託・覚書」締結のお願い
2021 学年度米山奨学生プロフィール
社会・国際奉仕活動アンケートのお願い
オンライン地区大会・地区大会特別研修セミナーご登録のお願い 接手
- ・会津若松西・会津若松中央 各 RC より、3月例会プログラム 接手
- ・会津若松 RC より、クラブ会報 接手
- ・喜多方市緑化推進委員会より、令和3年度総会のご案内 接手
- ・福島民友新聞社より、新生・喜多方高等学校誕生記念特集広告協賛願 接手

◎米山記念奨学会 表彰授与式

第20回米山功労クラブ 喜多方ロータリークラブ



◎ゲストスピーチ（リモート）

・福島県立喜多方東高等学校 校長 渋川 卓也 様



「新生喜多方高校の

概要について」



【会長より御礼】

◎委員会報告

◎ニコニコBOX

◎出席報告

◎閉会点鐘



【佐藤正道会長挨拶】今日の例会は、喜多方東高校校長の渋川様をお迎えしての例会ですが、コロナの市内感染者が発生したことにより、リモートでのご参加です。

渋川校長先生、ご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願いいたします。

間もなく東日本大震災から10年目を迎えます。

地震・津波がもたらした福島第一原発事故の影響は、まだまだ私たちの生活に影響を及ぼしています。そして事故原因の調査も未だ続けられています。

事故の5年後に発表された調査報告では、事故直後冷却のための海水注入が原子炉には到達していなかったということが報告されました。その結果メルトダウン、メルトスルーが起き、第1号機では279トンもの大量のデブリが発生し、廃炉に向けての厳しい状況が生み出されました。また建屋に流入した地下水や雨水が汚染水となり、最大で1

日に540トンも発生しましたが、現在では1日140トンにまで減少しています。しかしながら絶えず増え続けており、現在処理水の貯蔵量は125万トンにまで達し、今後の処理について議論が交わされています。

私の好きなテレビ番組にディスカバリーチャンネルのTHE NAKEDというサバイバル番組があります。初対面の男女が全裸で最低限の装備だけで21日間、過酷な未開の地で、生き延びることができるかどうかを試される内容です。全裸と言ってもTV放映用に修正がかけられていますので安心してください。

水や食料、服は持ち込めず、裸で水や食料を確保し、シェルターを作り、火をおこし、それに加え、獰猛な捕食動物や毒蛇などの危険な生物からも身を守らなければいけません。

参加者は、食料を確保するのに苦労しているようで、21日間の終了後には10数キロ体重が減っている人もいます。しかしながら、水の確保は必須で、湧水等の安全な水が調達できない場合は、汚染された水を煮沸して飲むことになります。

安全な水が確保できず、火も起せず、水が飲めずに重度の熱中症や脱水症状に陥ったり、汚染された水を飲んで感染症を引き起こすこともあります。症状が改善されない場合にはリタイアすることになります。如何に安全な水が大切なかがわかります。

今、安全な水を手に入れない人は、世界に6億6,300万人いるそうです。

サバイバル番組は、21日間と期間が限定され、救護のためのスタッフが待機している状況下でのチャレンジであるのに対し、現実世界では、生まれてから死ぬまで一生不衛生な水を飲み続ける人たちがいるのです。チャレンジではなく逃げ場のない現実なのです。また多くの途上国では、水汲みは女性や子供たちの仕事で、中には一日8時間も水汲みに費やす子供もいます。これでは学校へ通う時間ありません。

水の惑星と言われる地球は、表面の70%が水に覆われています。その97.5%が海水で淡水はたった2.5%、そのうち70%が南極や北極圏の氷河等、残りのほとんどは地下水です。私たちが利用できる川や湖などの淡水は、地球全体の0.02%でしかありません。さらに国によって水の流入量や水資源の分配に大きな差があります。カナダは水資源量が利用量を大きく上回りますが、中東諸国のように大きく下回る地域もあり、水資源は偏在しています。それゆえ、水資源の乏しい途上国では深刻な問題となっています。

今月は水と衛生月間です。

「安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利」のスローガンのもとロータリーは世界各地で水と衛生に関する活動をしています。

人災と言われる福島第1原発の廃炉に向けた莫大な費用と大量の処理水の事を思うと、私たちの活動は些細なことかもしれないかもしれません。しかし、私たちの支援を必要としている人たちへの歩みは停めるべきではないと思います。この特別月間に合わせ是非水と衛生について考えてみていただきたいと思います。

それでは、今日もよろしくお願いいたします。